

端末のセキュリティ設定

【はじめに】

本設定については、次の組合せを対象に作成しています。これ以外の環境の場合は、個別にご相談ください。

- ・「パソコン(Windows 11)」-「Microsoft Edge又はFirefox」
- ・「タブレット(iPad)」-「Safari」
- ・「タブレット(Android)」-「Google Chrome」

※バージョンや機種等によって手順などには違いがあるため、ご注意ください。

1 ブラウザにパスワード等を記憶させない設定

・Microsoft Edge

「設定など(「…」のマーク)」>「設定」>「プロファイル」>「パスワード」>「設定」をクリック。
「パスワードの保存を提案」、「パスワードとパスキーの表示とオートフィル」をオフにする。

・Firefox

「メニュー」>「設定」>「プライバシーとセキュリティ」> ログインとパスワードの「ウェブサイトのログイン情報とパスワードを保存する」のチェックを外す。

・iPad

「設定」>「パスワード」>「パスワードオプション」>「パスワードとパスキーを自動入力」をオフにする。

・Google Chrome(Android)

「その他(3点マーク)」>「設定」>「Googleパスワードマネージャー」>「設定」>「パスワードを保存する」をオフにする。

2 ブラウザを閉じた時に、ブラウザの一時ファイルを自動的に削除する(一時ファイルを保存しない)設定

・Microsoft Edge

「設定など(「…」のマーク)」>「設定」>「プライバシー、検索、サービス」>「ブラウザを閉じるたびにクリアするデータを選択する」>「Cookieおよびその他のサイトデータ」、「キャッシュされた画像とファイル」、「オートフィルフォームデータ(フォームやカードを含む)」をオンにする。
※利用者が利用を終了した都度、ブラウザの終了→再起動を行う必要がある。

・Firefox

「メニュー」>「設定」>「プライバシーとセキュリティ」>履歴の「Firefoxに(W)履歴を一切記憶させない」を選択。
「この機能を有効にするには、Firefoxの再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、「Firefoxを今すぐ再起動」をクリック。

・Safari(iOS)

「タブ(四角が2個重なっているボタン)」を長押し > 「新規プライベートタブ」
※背景が黒色になっている状態

・Google Chrome(Android)

「その他(3点マーク)」>「新しいシークレットタブ」
※バージョンや機種等によっては、ブラウザを閉じると本設定が解除されるため、再設定が必要になる。

3 文字入力の履歴を学習させない設定

・IME(Windows)

タスクバーの「IMEアイコン」を右クリック。
「設定」>「全般」>「予測候補を表示するまでの文字数を選択する」をオフにする。
「設定」>「学習と辞書」>「入力の精度を高めるために、入力履歴を使用する」をオフにする。

・iPad

「設定」>「一般」>「キーボード」>「予測テキスト」をオフにする。

・Android(Gboard)

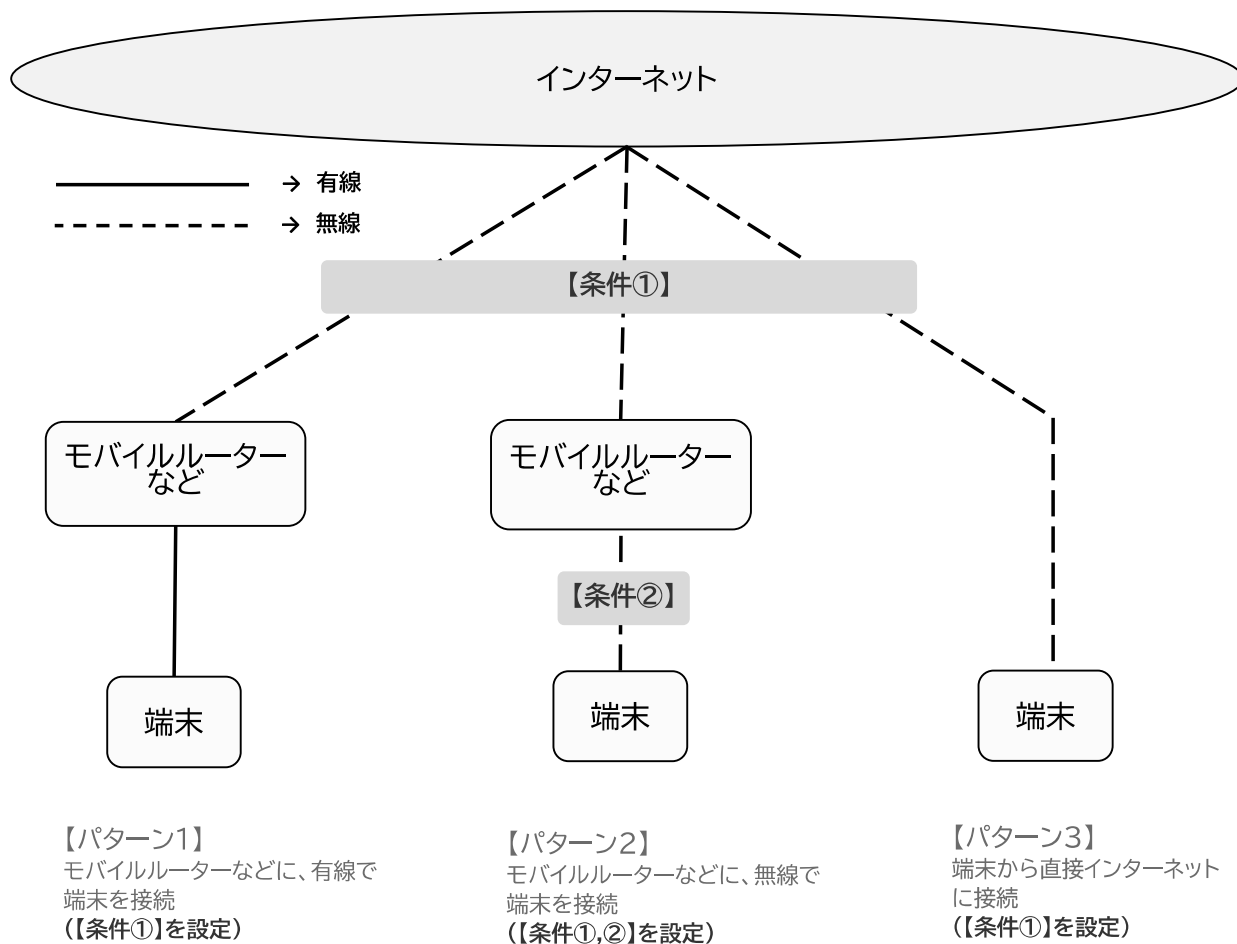
「設定」>「システム」>「キーボード」>「画面キーボード」>「Gboard」>「プライバシー」>「自分向けにカスタマイズ」をオフにする。

調達機器（タブレット）仕様書

I タブレット（数量：53 台）

項目	スペック等
通信回線	4G LTE 等に対応していること。 月間通信データ量 10GB 以上確保されていること。 ※そのほか条件は別紙 2-2 を参照すること
画面	9.7 型以上であること。
OS	iPadOS 16 以降 又は Android 12 以降 であること。
無線 LAN	IEEE802.11a/b/g/n/ac に準拠していること。
ブラウザ	iPad の場合は Safari 17 以上、Android の場合は Google Chrome 123 以上を搭載していること。
ソフトウェア	Android の場合は、ウイルス対策ソフトウェアを導入すること。 また、QR コードの読取りを可能とするための標準カメラ機能を搭載していること。
カメラ	QR コードの読取りを行うための内蔵カメラを搭載していること。
その他	AC 充電器等を用意すること。

タブレット調査員が携帯するタブレット端末の通信回線について



【注】接続に当たって暗号化方式等の設定条件

【条件①】

- (1) Wi-Fiの場合は、暗号化方式がWPA2、WPA2-PSK又はWPA3のいずれかに固定可能であること。
※ 暗号化方式がWEP、WPA又はWPA-PSKであるWi-Fiは使用不可。
- (2) Wi-Fiの場合は、暗号化に際してはパスワードが第三者にオープンになっていないこと。
※ 不特定多数の者が利用可能なフリーWi-Fiは禁止。

【条件②】

- (1) データ通信カードなどと端末間の通信の暗号化方式がWPA2、WPA2-PSK又はWPA3に固定されているWi-Fiである場合のみ可能。
- (2) WPA2、WPA2-PSK又はWPA3が利用可能であっても、WEP、WPA又はWPA-PSKも選択できるものは使用不可。

タブレットの遠隔ロック設定

【はじめに】

本設定については、次のOSを対象に作成しています。これ以外のOSの場合は、個別にご相談下さい。

<対象OS>

- ・iOS ※ Apple IDが必要になります。
- ・Android ※ Googleアカウントが必要になります。
※バージョンや機種等によって手順などには違いがありますので、ご注意ください。

<iPad又はiPhoneの遠隔ロックの設定手順>

1 配布する端末に対して事前に必要な条件

- ・Apple IDでログインしていること。

「設定」>「iPad(iPhone)にサインイン」の順に進み、設定したApple IDとパスワードを入力する。

- ・iPad(iPhone)に「iPad(iPhone)を探す」設定がされていること。

「設定」>「(ユーザ名)」>「探す」の順に進み、

「iPad(iPhone)を探す」「探す」ネットワーク「最後の位置情報を送信」をオンにする。

- ・位置情報サービスがオンになっていること。

「設定」>「プライバシーとセキュリティ」>「位置情報サービス」をオンにする。

- ・4G LTEなどの通信サービス又はWi-Fiに接続されていること。

2 手元の端末から遠隔ロックをする方法

<iOS端末から遠隔ロックをする場合>

①「設定」から、検索するiPad(iPhone)で設定したApple IDでサインインする。

②「探す」アプリを開く。

③「デバイスを探す」をタップする。

④マップが開き、iPad(iPhone)の位置が示されたら、紛失したiPad(iPhone)を選択する。

⑤「紛失としてマーク」から、「有効にする」を選択する。

⑥パスコードを設定する。

※紛失端末の発見者に連絡をしてもらう場合は、適宜、電話番号・メッセージを入力します。

<PC(Web)から遠隔ロックをする場合>

①icloud.com/findへアクセスし、検索するiPad(iPhone)で設定したApple IDでサインインする。

②マップが開き、iPad(iPhone)の位置が示されたら、紛失したiPad(iPhone)を選択する。

③「紛失としてマーク」を選択する。

④パスコードを設定する。

※紛失端末の発見者に連絡をしてもらう場合は、適宜、電話番号・メッセージを入力します。

<Androidの遠隔ロックの設定手順>

1 配布する端末に対して事前に必要な条件

- ・Googleアカウントにログインしていること。

「設定」>「パスワードとアカウント」>「アカウント追加」>「Google」の順に進み、表示された画面でGoogleアカウントに設定したメールアドレスとパスワードを入力する。

- ・位置情報がオンになっていること。

「設定」>「位置情報」>「位置情報を使用」をオンにする。

- ・「デバイスを探す」設定がされていること。

「設定」>「セキュリティとプライバシー」>「デバイスを探す」をオンにする。

- ・デバイスが Google Play に表示されていること。

<https://play.google.com/library/devices/>にアクセスし、「メニューに表示する」チェックボックスがオンになっていることを確認します。

- ・電源が入っており、4G・LTEなどの通信サービスまたはWi-Fiに接続されていること。

2. 手元の端末から遠隔ロックをする方法

<Android端末から遠隔ロックをする場合>

- ①「デバイスを探す」アプリをダウンロードし、紛失した端末のGoogleアカウントとパスワードでログインする。
- ②「デバイスを探す」画面から、紛失した端末を選択する。
- ③マップが開き、端末の位置が示されたら、「デバイスを保護」を選択する。
- ④PIN、パターンまたはパスワードを入力し、ロックする。
※拾った方に連絡をしてもらう場合は、適宜、電話番号・メッセージを入力します。

<PC(Web)から遠隔ロックをする場合>

- ①android.com/find にアクセスし、Google アカウントにログインする。
- ②マップが開き、端末の位置が示されたら、紛失した端末を選択する。
- ③「デバイスを保護」を選択し、PIN、パターンまたはパスワードを入力し、ロックする。
※先に「ロックとデータ消去を有効にする」の選択が必要となることがあります。
※拾った方に連絡をしてもらう場合は、適宜、電話番号・メッセージを入力します。